



認定特定非営利活動（NPO）法人 柔道教育ソリダリティー

Newsletter vol. 8

Certified NPO – Solidarity of International Judo Education

①日中友好南京柔道館の開館式（中国・南京市） ②青年海外協力隊（ホンジュラス） ③柔道教室（ロシア・サンクトペテルブルグ市）
④青年海外協力隊（マダガスカル）⑤井上康生氏、サンクト・ペテルブルグ市での柔道指導 ⑥山下理事長、サンクト・ペテルブルグ市で熱く語る

国際的な柔道の普及—「自他共栄」を実現するために

— To promote the international popularization of judo and realization of *jitakyoei* (mutual prosperity for oneself and others).

現在、国際柔道連盟(IJF)には、199の国と地域が加盟しています。柔道は、一流競技者から一般市民に至るまで愛好され、各国の文化的特性と融合しながら創始者嘉納治五郎師範が掲げた「自他共栄」の実現を目指しています。

柔道を通して日本の心を伝え、

様々な国との文化交流に役立てたい

— We communicate the Japanese spirit.

昨今の国際情勢を見ると、紛争やテロ、地球環境の劣化、南北格差の拡大、人口増加など問題が山積みされております。そのような状況の中、一部の発展途上国では柔道の指導者、道衣、畳、教材などが不足し、柔道を学びたくても学べない現状があります。柔道の国際的普及、振興に努めていきます。

今、大切なことは、子ども達をいかにして育てていくか

— Educate youth through judo.

柔道を通して世界中の人々が心を通い合わせ、お互いの文化を理解することが「自他共栄」を実現することの近道と考えております。これからの社会を担っていく青少年を、柔道を通して育成することが大切であると考えております。



特定非営利活動法人
柔道教育ソリダリティー

柔道教育ソリダリティーとは・・・

柔道の国際的な普及に寄与するとともに、その活動を通じて人と人との交流を図り、異文化理解を進め、もって日本のさらには世界の青少年教育に寄与することを目的とした組織です。

特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー会報第7号

2010年7月1日発行 published 1st of July 2010

発行人：山下泰裕

発行所：特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1

東海大学 体育学部 柔道研究室

Address : 4-1-1 Kitakaname, Hiratsuka-shi, Kanagawa
Japan, 259-1292

T E L : 0463-58-1211 (内線3524)

F A X : 0463-50-2230

Email : judo3524@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

Vol. 8

※柔道教育ソリダリティーは、2009年5月1日より国税庁より認定を受けました。本法人へのご寄付は、寄付金控除、損金算入などの税の優遇措置の対象になります。

<http://npo-jks.jp>



柔道教育ソリダリティー役員

Officials of Solidarity of International Judo Education

2010年6月14日に行われた第5回総会で新理事が承認されました。本法人の役員(2010年6月現在)をお知らせいたします。

理事長

山下 泰裕 (学校法人東海大学理事・体育学部長)

副理事長

橋本 敏明 (学校法人東海大学体育学部教授)

理事

秋山 創一 ((株)電通 執行役員)

小川 郷太郎 (外務省 参与)

加藤 暁子 (日本の次世代リーダー養成塾 事務局長)

阪 和彦 (アスカコーポレーション(株) 代表取締役)

高木 善之 (NPO法人ネットワーク「地球村」代表)

蓑宮 武夫 ((有)みのさんファーム 代表取締役)

上治 丈太郎 (ミズノ(株) 専務取締役)

小田 全宏 (NPO法人日本政策フロンティア 理事長)

小林 昭夫 ((株)博報堂DYメディアパートナーズ 執行役員)

仙石 通泰 ((株)三技協 代表取締役社長)

早川 信正 (早川繊維工業(株) 東京支店 専務取締役)

矢野 弘典 ((財)産業雇用安定センター 会長)

監事

小出 将恵 (小出会計事務所 所長)

中野 根二郎 (京王電鉄(株) 顧問)

(50音順)

主な活動 (2010年1月～2010年6月)

- Major Activities -

年 月 日	内 容
2009年12月3日～9日	ロシア女子柔道チームが来日(東海大学)
2010年2月3日～8日	「日中友好青島柔道館」の役員・子供たちが来日(東京・望星学塾)
2010年2月6日～3月5日	学生ボランティア、二ノ坂啓君をデンマーク・プレスト市BOSEI国民高等学校へ派遣
2010年2月27日～3月26日	外務省スポーツ交流プログラムと共催し、モンゴル・インドからコーチ及び柔道選手を招聘
2010年3月1日	「日中友好南京柔道館」が開館(中国・南京市)
2010年3月11日～3月17日	山下泰裕理事長をロシア・サンクトペテルブルグ市へ派遣
2010年4月10日	中国・山東省・青島市の柔道指導者、王華さんが帰国
2010年4月13日	リサイクル柔道衣がホンジュラスへ到着
2010年5月2日	中国・江蘇省・南京市の柔道指導者、常東氏が帰国
2010年5月8日	リサイクル柔道衣がマダガスカルへ到着
2010年5月12日～5月14日	井上康生氏をロシア・サンクトペテルブルグ市へ派遣
2010年6月14日	2010年度第1回理事会・第5回総会・第8回講演会を開催(東京・霞が関)

1



2



3



※1 「日中友好南京柔道館」の開会式にて劉俊林南京柔道協会長と山下理事長

※2 王皓君が東海大学体育学部武道学科に入学

※3 ロシア・サンクトペテルブルグ市で行われた柔道教室に集まった子供たち

※1 Liu Junlin, Chairman of the Nanjing Judo Association and President Yamashita attended the opening ceremonies for the Nanjing Japan China Judo Friendship Center.

※2 Wang Hao enrolls in the Tokai University School of Physical Education Martial Arts Department.

※3 Children attended a judo class held in St. Petersburg, Russia.

日本の心、柔道を世界へ伝えるために・・・

柔道用品(柔道衣・畳)の支援

2009年度は、柔道衣518着(7カ国)、畳179枚(2カ国)を送りました。

国際協力機構(JICA)青年海外協力隊の小島千明さん(ホンジュラス派遣)、渡辺和也君(マダガスカル派遣)からリサイクル柔道衣のお礼状が届きました。

We received a letter of appreciation from Chiaki Kojima and Kazuaya Watanabe of the Japan International Cooperation Agency for sending recycled judo wear.



小島千明さんよりリサイクル柔道衣の贈呈が行われた(ホンジュラス)

今回、私の青年海外協力隊の活動に際し、柔道衣の協力を頂き、有難うございました。こちらに到着したのは昨年だったのにも関わらず、ホンジュラス柔道連盟との連絡、サイズ・着数等の確認、受け渡し、保管、使用方法等の確認作業に手間取り今の連絡となってしまいました。私の活動に関しては、赴任して一年が経ちました。未だに言語の壁に悩まされ、ホンジュラス時間にも悩まされながら、日々活動しています。一年経ってやっと自分の思いを伝えられるようになってきました。私も柔道に関して、まだまだ修行中の身ですので、現地の生徒や先生達と共に成長していけたらと考えています。今後ともどうぞよろしくご指導下さいますよう、お願い申し上げます。

2010年4月 青年海外協力隊(ホンジュラス派遣) 小島千明



マダガスカル・タマダウ市に届いたリサイクル柔道衣

こんにちは。ご無沙汰しております渡辺和也です。今、僕の任地のタマダウ市はとても暑く、毎日厳しい稽古をしています。生徒達も最近また少しずつ増えてきて頑張っております。2月の末に首都で行われた大会に参加させていただき優勝することが出来ました。リサイクル柔道衣を送っていただき、有難うございました。やっと最後の一箱がJICA事務所に届きました。JICAの調整員の方が僕のタマダウ市まで持ってきて下さいました。沢山の色々な方々の支援があってここまで届けられたことに本当に感謝しております。現在、新しい生徒が増え生徒が300名近くいますので、柔道衣は全て柔道クラブのものとして試合や遠征などを行う時に使っていくことになりました。とても綺麗で良い柔道衣が多いので長く使っていけるよう大切にしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

2010年5月 青年海外協力隊(マダガスカル派遣) 渡辺和也

子供用リサイクル柔道衣支援のお願い

柔道を学びたくても学べない環境の子供たちが世界にはたくさんいます。その原因の一つは、柔道衣不足です。柔道衣1着が月給よりも高く、とても手に入れることが出来ない人がたくさんいるのです。本法人では、日ごろ使われていない柔道衣を集めて要望に応じて世界各国へ送っています。

※きれいに洗濯して、柔道衣上下+帯をセットにして下記住所にヤマト運輸や佐川急便などの運送会社を使い着払いでお送りください。



〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1
東海大学柔道研究室
NPO法人柔道教育ソリダリティー事務局 宛

第8回講演会 「NPO法人4年間の歩み」

2010年6月14日、東京・東海大学校友会館にて、第5回総会後に第8回講演会を開催しました。テーマは「NPO法人柔道教育ソリダリティー4年間の歩み」の演題で山下理事長が講演をしました。

On Jun. 14, 2010, we held our 8th symposium at the Tokai University Koyu Hall in Tokyo following the 5th general assembly. The topic of the meeting was Looking Back at the 4 Years of the Solidarity of International Judo Association, a Certified Non-Profit Organization and Chairman Yamashita gave a presentation.



第8回講演会には、100名以上の参加者が集まった

第5回総会後に行われた、第8回講演会には100名以上の参加者が集まりました。以下は要旨です。

山下理事長は、初めにNPO法人を立ち上げるきっかけとなった2003年から交流のあるロシアのプーチン首相との話、同年、日露賢人会議に参加した時に、本法人顧問の奥田碩氏より何か活動するための組織を作るようにアドバイスをされた話などに触れました。2005年にIJF教育コーチング理事に就任してからは、IJFの協力の下、世界の柔道発展のために尽力したこと、その考えが本法人の活動に引き続いていることも説明し、2005年4月に発行された『武士道とともに生きる』の印税を奥田氏よりNPO法人の設立基金としていただき、2006年4月にNPO法人柔道教育ソリダリティーが設立された経緯を話しました。設立後には、実際に世界に柔道を広げるための活動(リサイクル柔道衣配布・外国からの選手・指導者の受入・外国への指導者派遣)を展開していること、日露交流や日中交流に関する活動状況と今後も理想に向けて進んでいく意欲を示しました。聴講者からは、「この4年間で多くの活動されたのですね」という言葉もいただきました。

柔道教育ソリダリティーのバックナンバー講演録をご要望の方は、事務局0463-58-1211(内線3524)までご連絡下さい。講演録は無料で配布しております。また、本法人ホームページからも講演録をダウンロードすることができます。



日本の心、柔道を世界へ伝えるために・・・

外国からの選手・指導者受入

2009年度は、6カ国18人の柔道選手・指導者を受け入れました。

2009年度は、外務省や国際交流基金などの協力の下、中国・ロシア・南アフリカ・モンゴル・インド・ラオスの6カ国から計18人の柔道選手や指導者を受入れました。

With the cooperation of the Ministry of Foreign Affairs and the Japan Foundation, in 2009 we accepted a total of 18 judo athletes and instructors from China, Russia, South Africa, Mongolia, India and Laos

China

国際交流基金の文化協力の助成金を得て、半年間日本で研修を行った南京市の常東(チャン・ドン)氏、青島市の王華(ワン・ファ)さんが帰国しました。研修中には、講道館で行われた国際セミナーに参加したり、湘南柔道クラブ、東海大学望星学塾、春日柔道クラブ、朝飛道場などを見学し日本の柔道事情を視察しました。

Chang Dong from Nanjing and Wang Hua from Qingdao depart for home after spending six months training in Japan with the support of a cultural cooperation grant from the Japan Foundation.



講道館国際セミナーの様子



町道場で子供たちへの柔道指導法を学ぶ常東氏



講道館女子柔道2段を取得した王華さん



中西英敏東海大学教授に指導を受ける王華さん

国際交流基金と東海大学、NPO法人柔道教育ソリダリティーの援助のお陰で柔道の指導方法や理念、道場の企画・運営の方法を学びました。また、東海大学大学院文学研究科の寺園先生から日本語を習いました。今、私は日本語の生活言語を話せます。これから中国で日本語の勉強をするつもりです。毎日柔道の練習や日本語の勉強をしました。とても大変でしたが「日中友好南京柔道館」のために素晴らしい経験となりました。

今年の2月下旬から3月17日まで講道館の国際セミナーに参加しました。国際セミナーでは、柔道の歴史、理念、指導法や正しい技、形や審判法について勉強しました。また、講道館柔道初段の資格を取得することが出来ました。

2010年3月1日、山下先生が支援して下さった「日中友好南京柔道館」が開館しました。この柔道館が中国人と日本人の友好的懸け橋になることを希望しています。これからは南京の柔道館で主管として中国人に日本で学んだ柔道を伝えたいと思います。常に感謝の心を忘れないで、良い柔道の先生になりたいと思います。どうも、有難うございました。

日中友好南京柔道館 常東(チャン・ドン)

昨年の10月に東海大学に来て半年が経ちました。日本では、日本語を勉強したり、少年柔道を行っている柔道クラブを見学させていただきました。また、講道館国際柔道セミナーにも参加させていただき、本当に充実したプログラムで、素晴らしい指導者を目指している私は、とても成長することが出来ました。

現在の中国・青島市では、柔道を詳しく知っている国民はとももなく、日本のように盛んではありません。2007年に「日中友好青島柔道館」が開館し、私はその道場で子供たちに柔道を教えています。毎日どうやって子供に楽しく教えるか、どうやってまた道場に来たいと思わせるか、悩みました。まず楽しく、解り易く、子供と友達になって、子供たちが柔道を好きになるように努力しました。たった一人の生徒から、少しずつ増えて、子供たちだけで40人になりました。

私はもうすぐ青島市に帰りますが、日本で学んだことを活かして、色々な指導法を研究したいと思っています。もっともっと頑張って青島柔道を普及するために努力したいと思っています。

日中友好青島柔道館 王華(ワン・ファ)

王皓君が東海大学日本語別科で行われている日本語コンテストに出場しました。



東海大学体育学部への入学式に出席した王皓君



柔道衣で日本語コンテストに出場した王皓君

Wang Hao, who enrolled in the Tokai University School of Physical Education in April 2010, enters a Japanese speaking contest held by the Department of Japanese Language.

2010年4月から東海大学体育学部へ入学した王皓君が東海大学日本語別科で行われた日本語コンテストに出場しました。東海大学日本語別科では春と秋の2回、日本語コンテストを行っております。春のコンテストは、クラス1(上級)～11(初級)ごとに予選会を行います。王皓君は、11～9クラスの予選会の中で最優秀賞に輝き、本選に出場することが出来ました。

王皓君は柔道衣に身を包み、美しい礼を行ってから、スピーチを始めました。演題は「柔道と私」で、日本語と柔道を一生懸命勉強し、2012年のロンドン五輪で金メダルをとりたくと抱負を語りました。そして、将来は、柔道を通して日中の架け橋の存在になりたい、と強く訴えました。最後に、私は文武両道を目指します！と抱負を述べて会場の拍手を誘いました。

Russia

2010年12月3日～9日、ロシア女子柔道チームが東海大学を中心に強化合宿を行いました。



東海大学女子柔道場での練習の様子



来日したロシア女子柔道選手たち

The Russian National Women's Judo Team held an intensive training camp in Japan, primarily at Tokai University, from Dec. 3 to 9, 2010.

ロシア柔道協会の協力の下、ラフリン氏及びロシア女子柔道選手10名が来日しました。プーチン首相の柔道の師であるロシア柔道連盟副会長のラフリン氏が率いるチームは、東海大学で精力的に練習を行いました。ラフリン氏は、2008年に来日した際「嘉納治五郎先生が広めた、強く美しい柔道に復帰したい。原点である日本の柔道を学びたい。オリジナルは、コピーよりも常にすぐれているものだ」と話されています。引き続き、本法人はロシアの柔道を支援していきます。

Mongolia・India

2010年2月27日～3月26日の間、モンゴルとインドからそれぞれ選手2名、コーチ1名を受け入れました。



来日したモンゴル男子柔道選手、コーチ、通訳



来日したインド女子柔道選手と中国青島の王華さん

We accepted two athletes and one coach each from India and Mongolia from Feb. 27 to Mar. 26 2010.

外務省スポーツ交流プログラムの協力の下、モンゴルから男子柔道選手2名、指導者1名。インドから男子柔道選手1名、女子柔道選手1名、指導者1名が東海大学を中心に、講道館への出稽古や練習を行いました。東海大学では中西英敏教授からの直接指導もあり、日本の練習方法をビデオに記録するなど、選手だけでなく指導法なども精力的に勉強していました。

外国への柔道指導者派遣

山下理事長、浅井信幸ロシア担当、井上康生氏をロシア・サンクトペテルブルグ市へ派遣しました

2010年3月11日～17日の期間、山下理事長、浅井信幸ロシア担当、5月12日～14日の期間、井上康生氏をロシア・サンクトペテルブルグ市へ派遣しました

President Yamashita Yasuhiro and Nobuyuki Asai, our official in charge of Russian affairs, travelled to St. Petersburg between Mar. 11 to 17, 2010, and Kosei Inoue from May 12 to 14.

浅井 信幸(ロシア担当) 記

2010年3月11日から16日まで山下理事長が三井物産株式会社主催の「三井冠講座」でサンクトペテルブルグ大学を訪問しました。

講座に先立ち11日にガスプロム企業内学校で講演と柔道教室を行いました。ガスプロムとは世界最大の天然ガス企業でメドベージェフ大統領が当社会長を務めていました。講演では児童を前に、教育としての柔道、柔道で学んだことを人生に活かす、相手を敬う心を伝えました。柔道部のない当校では空手着、赤青のサンボ着に身を包んだ子供達がオリンピックチャンピオンの見せる技に固唾を呑み、投げるごとに大拍手をし、教わったばかりの技を何回も試していました。その夜、河野雅治 在ロシア日本国大使主催の夕食会が行われ、招かれたオリンピックチャンピオンを含む元スポーツ選手議員、起業家たちと交流しました。スポーツ、文化を通じた交流が両国の友好関係をさらに深めていけると、多くの口から語られました。

14日にはプーチン首相の道場でも知られるヤマワネヴェで柔道教室を行いました。大勢集った子供達は、少しでも多くのものを学ぼうと食い入るように見ていました。教室の最後に、山下理事長から「柔道の心」、すなわち、「和の心」が語られました。

15日には三井物産株式会社が社会貢献事業の一環として行っている冠講座で「スポーツ(柔道)を通しての自己改革」という題で講演しました。その根底に流れているものは嘉納治五郎先生の「精力善用」「自他共栄」、松前重義総長の「柔道・友情・平和」の精神でした。その後、講演の数時間前に急遽決まったプーチン首相との会談のためにモスクワへ向かいました。プーチン首相との会談では、柔道の話から始まり、これからの日露関係についても首相から語られたそうです。

今回、このような素晴らしい機会を設定していただきました。三井物産株式会社、在モスクワ日本大使館、在サンクトペテルブルグ日本総領事館の関係者の皆様に、心から御礼を申し上げます。



サンクトペテルブルグ市のヤワラネバ道場にて



サンクトペテルブルグ大学で山下理事長が講演を行った



プーチン首相の柔道の師、ラフリン氏も参加(右から3人目)



柔道教室には、多くの選手が参加しました

井上 康生 談

この度は、大変貴重な経験をさせて頂き、この機会を与えてくださった山下先生、ラフリン、ポストリコフ両先生、そして調整役としてご協力頂いたNPOスタッフには心から感謝を申し上げます。ラフリン先生と教育について話す機会があり、私にとっても大変貴重な学びとなりました。私の指導がロシア柔道界の貢献に少しでも役に立つ事を祈ると同時に、ロシアと日本が柔道を通じて、深い友好関係がこれまで以上に結ばれる事を心から願います。

学生ボランティア派遣

2010年2月6日～3月5日の間、二ノ坂啓君をデンマーク・プレスト市BOSEI国民高等学校へ派遣しました

2010年2月6日～3月5日、デンマーク・プレスト市にあるBOSEI国民高等学校(元東海大学付属デンマーク校中学部・高等部)に学生ボランティアの二ノ坂啓君を派遣しました。

We sent Satoshi Ninosaka, a student volunteer, to the Idrætshøjskolen Bosei (formerly the Tokai University Senior and Junior High School in Denmark) in Præstø, Denmark from Feb. 6 to Mar. 5, 2010.



日本文化の授業もあるBOSEI国民高等学校

デンマークの中でも珍しい日本語の授業があるBOSEI国民高等学校には、日本に興味のある生徒が多く在籍していました。生徒の中には「柔道をするために在籍している」という生徒もおり、改めて柔道の魅力というものを感じさせられました。言葉はわからなくても柔道を通して交流することができるということはとても素晴らしいことだと思います。

小学生の頃から柔道を始め、大学では武道学科に在籍し、現在においては大学院において橋本敏明教授のもと武道学の研究に勤しんできました。今までに学んできた技術、知識を集約し存分に発揮できたのではないかと思います。今回、このような機会を下されたNPO 柔道教育ソリダリティーの山下泰裕理事長をはじめNPOを支援して下さっている多くの皆様。このような経験をさせて頂き嬉しく思っています。本当にありがとうございました。最後に、現地で私を受け入れてくれ、滞在中すべてにおいて大変お世話になったTommy 先生に感謝したいと思います。

ボランティア学生 東海大学大学院体育学研究科 二ノ坂 啓

柔道を通じた異文化交流、異文化理解のために

日中友好南京柔道館が開館しました！

2010年3月1日、中国で二つ目となる「日中友好南京柔道館」が開館しました。この柔道館の開館は、日本外務省「草の根無償資金協力」と南京運動学校との日中協力の形で実現されました。



「日中友好南京柔道館」の外観

The Nanjing Japan China Friendship Judo Center, the second center of its kind in China, opened on Mar. 1, 2010. This Judo Center was completed as a cooperative enterprise between the Grant Assistance for Grassroots Projects division of the Japanese Ministry of Foreign Affairs and the Nanjing Institute of Physical Education.

本法人からは、山下理事長、早川理事、光本事務局長が「日中友好南京柔道館」開館式に出席しました。開館式には、柔道学ぶ中学生・大学生が100名以上集まりました。同日、上海の日本総領事館と南京市民人民対外友好協会との共催で「南京ジャパンウィーク」も開催され、柔道館を中心に日中交流が行われました。山下理事長は、「日本と南京には残念な歴史があるが、若い選手の交流に出来る限り参加したい。この柔道館から五輪メダリストの誕生を期待しています」と話しました。

早川理事が「南京訪問記」を投稿されましたので紹介します。



開館式には、多くの関係者が参加した

早川信正理事 記

このたび山下泰裕先生と中日友好南京柔道館の開館式に同行させて頂き、深く感じるところがありましたのでここに記させて頂きます。

私のような中国をたびたび訪れている者でさえ、あえて足を踏み入れなかった南京。過去の不幸な出来事ゆえに足がすくみ、避けて通っていたというのが実情です。これはコミュニケーションをしないという私の立場であり、いやな思いをしたくないという自己防衛であったことを今回認識致しました。ふれあった町の人々や柔道関係者の方々の気持ちのあり方は、他の多くの中国の人々と同じ様に自分に忠実で感情豊かな普通の人々でした。もちろん日中両国民の間には深い傷跡があり、それを忘れることはできません。そして幸運にも友好の時代に生を受けた我々の世代は、お互いを知り合うという努力を怠ってはならないと思います。コミュニケーション不足から生じる疑心暗鬼こそが憎悪の源だと考えます。

その意味で共通の言語であるスポーツや芸術を通してお互いのコミュニケーションを図るという今回の日本政府の後押しは心強いものであり、柔道の山下先生自らのご指導を受けることにより中国柔道の技術を向上させたいという地元の強い要望に応えることができたと思います。その現場に立ち会えた幸運に感謝しております。たった一人の力では、止めることのできない国家間のあつれきも共通の場を持つ多数の人々の相互理解の力で少しでも融和の道が開くことができれば幸いです。



試合場が3面作れるほどの大きさがある柔道館

日中友好青島柔道館の子供たちが来日



松前柔道塾での練習の様子



一緒に練習を行った松前柔道塾と青島柔道館の子供たち

2010年2月3日～8日、「日中友好青島柔道館」の役員、子供たち計10名が来日し、望星学塾・松前柔道塾(東京)、東海大学(神奈川)で湘南松前柔道塾の子供たちと交流を持ちました。

A total of 10 directors and children of the Qingdao Japan China Friendship Judo Center visited Japan from Feb. 3 to 8, 2010, and interacted with children at the Tokai University Shonan Matsumae Judo-Juku.

日中友好柔道交流で色々とお世話になった皆様、大変お世話になりました。日本での滞在は2月3日から8日と短い間でしたが、青島の子供たちにとって貴重な思い出になりました。

来日2日目には、松前記念館を見学させていただきました。松前先生の発明や東海大学の見学の歴史を説明していただき、子供たちはとても驚いた様子で、真剣に聞いていました。この経験は子供たちにとって大きな教育だと思います。

湘南松前柔道塾との友好練習もとても良い交流が出来ました。練習する途中で青島友好柔道館の万館長が日本の子供たちにプレゼントを渡しました。そして、お互いに友好試合もしました。

東京・武蔵野市に移動してからもとても楽しく柔道をさせていただきました。橋本先生も参加して青島の子供と一緒に試合をして下さり子供たちは大感激していました。北田先生は熱心に柔道の技を教えてくださいました。なかなか上手く出来ませんでしたが、何度でも繰り返し教えてくださいました。

今回で2回目の交流になりますが、交流をつなげればつなげるほど、お互いに得るものがあると思います。外国に行って自分たちが習ったものを実際に試す事が出来るチャンスがあるからこそ、子供たちが大きく成長することでしょう。皆様のご協力があるからこそ、この交流の輪が広がられることを、本当に心から感謝しています。

日中友好青島柔道館 王華

今後の活動予定

イスラエル・パレスチナへの指導者派遣事業



2010年7月、国際交流基金文化交流プログラムと共催し、山下理事長、井上康生氏をイスラエル・パレスチナに派遣し、柔道指導、講演会を開催します。

In July 1020, in collaboration with the Japan Foundation Cultural Exchange Program, we will send Chairman Yamashita and Kosei Inoue to Israel and Palestine to hold judo classes and lectures.

柔道大会を支援



望星旗柔道大会、塾友旗柔道大会、宮城県山下旗柔道大会など少年柔道大会を支援します。

We currently support children's judo events such as the Bosei, Jukuyu and Miyagi Prefecture Yamashita Judo Tournaments.

柔道シンポジウムを支援



2010年7月、東海大学湘南校舎で行われる日英学生柔道交流を支援します。

We will support the Japan U.K. Student Judo Exchange program to be held at Tokai University's Shonan Campus.

外国へのボランティア学生の派遣



ボランティア学生を「日中友好南京柔道館」などに派遣します。

We will send student volunteers to the Nanjing Japan China Friendship Judo Center and other facilities in September 2010.

柔道教室を支援



2010年9月、望星スポーツジャンボリーを支援します。

We will support the Bosei Sports Jamboree in September 2010.

講演会事業

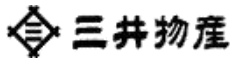


2010年12月に柔道教育ソリダリティーの記念日に講演会を開催を予定しています。

We will hold a symposium on Dec. 9, 2010, the anniversary of the establishment of the Solidarity of International Judo Association.

2009年度 会員状況

— Supporter —



三井物産(株)



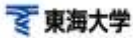
(株)アルデプロ



東建コーポレーション(株)



ミズノ(株)



(学)東海大学



(株)ローソン



九州電力(株)



(株)ファンドクリエイション



(株)小松製作所



大成建設(株)



三井住友海上火災保険(株)



(株)神田製作所



秀和ビルメンテナンス(株)



三菱東京UFJ銀行

(株)アサヒ、(株)アシックス、伊藤超音波(株)、NPO法人今治しまなみスポーツクラブ、植木会計事務所、(株)H.C.K.21、(株)S-Yワークス、(株)エースインターナショナルジャパン、(株)大戸屋、大峰堂薬品工業(株)、オクト産業(株)、(学)加計学園、(株)霞ヶ関東海倶楽部、川中不動産(株)、(株)カンサイ、紀柔館、教道館、共和電子(株)、(株)廣洋、相模トライアム(株)、(株)三技協、(株)しんわ食品、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)、(株)鈴廣蒲鉾本店、住友商事(株)、総合警備保障(株)、(株)ダイゼン、(株)ダイワコーポレーション、(株)築地すし好、(株)東海教育研究所、東海教育産業(株)、東海大学女子柔道部、東海大学付属相模高等学校、(財)東京都柔道連盟、藤柔会、東雄技研(株)、医療法人徳真会グループ、戸田建設(株)、医療法人白磁会中ノ島センタービル歯科、早川繊維工業(株)、(株)富士サービス、NPO法人日本政策フロンティア、(有)みのさんファーム、明光産業(株)、医療法人社団明正会、((株)ユニバーサルアンダーライターズ、(株)ユーミーネット、(株)わくわくコーポレーション

(50音順)

	個人	団体
正会員	182	39
寄付	82	16
アドバイザー	32	



2010年度より会費制度が変わりました!!

(2010年4月1日施行)

旧会費 (2009年度まで)

正会員 (個人) 一口 10,000円
(団体) 一口 50,000円

※一口以上

賛助会員 (個人) 一口 3,000円
(団体) 一口10,000円

寄付：特に定額はありませぬ

個人会費が5000円に変更になりました

賛助会費は、寄付金となりました

新会費 (2010年度より)

会員 (個人) 一口 5,000円
(団体) 一口50,000円

※一口以上から受け付けます

寄付：特に定額はありませぬ

柔道教育ソリダリティーは、2009年5月1日より国税庁の認定を受けました。本法人への寄付は寄付金控除、損金算入など税の優遇措置の対象となります。本法人の活動は、皆様からのご寄付、ご支援によって運営されています。本法人の趣旨にご賛同の上、ご協力いただけましたら幸いです。

■ 郵便振替

口座記号番号:00200-7-37175

加入者名:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー

■ 銀行振込

三菱東京UFJ銀行 平塚駅前支店 普通口座1573953

口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕

横浜銀行 東海大学駅前支店 普通口座1768726

口座名称:特定非営利活動法人柔道教育ソリダリティー 理事山下泰裕